

## 活動報告(平成25年1月～3月)

### 内 容

- ✚ 時津港周辺のごみ拾い  
～海上の浮遊ごみ（船から回収）と沿岸の漂着ごみ 750 キロを回収～
- ✚ おおむら湾環境シンポジウム（シーハット大村 さくらホールで開催）  
～大村湾の環境と人間（ひと）との関わり～  
～大村湾を想う、磯あそびができる大村湾を取り戻そう～
- ✚ カンボジア支援  
～時津小学校でカンボジアからのビデオを上映～
- ✚ 地球温暖化防止 啓発活動
  - \* 冬の節電コンテスト表彰式  
～1世帯当りの電力削減量は111.5Kwh、削減率は14.8%～
- ✚ 食に関する会議及び交流会に出席
  - \* 長崎県食育推進広域ブロック会議（西彼保健所管内ブロック）
  - \* 食育アイランド九州長崎交流会
- ✚ 協働事業
  - \* 放課後子ども教室  
～平成24年度“とぎつ いただきますクッキング教室”終わる～
  - \* 大学生スタッフの寄稿文  
～クッキング教室で学び、成長した1年間でした～
- ✚ 当面の予定
- ✚ ホームページ掲載記事リスト

## 活動の詳細

### ★ 時津港周辺のごみ拾い

～海上の浮遊ごみ（船から回収）と沿岸の漂着ごみ 750 キロを回収～



三菱電機裏の石積みの間のごみも回収



海上班は写真右の船で回収し、仕分け後、車に積み込む

3月23日（土）、当法人が呼び掛けて行う本年度最後の行事、時津港周辺（ウォーターフロント公園沿岸～安田汽船棧橋）のごみ拾いを、午前9時から実施した。

時津町役場職員や協力団体、企業（十八銀行、親和銀行、三菱電機、ケンコーホーム、別所組）、一般参加者ら約80人が参加。今年は家族ぐるみの参加や子ども連れの参加者が、例年よりも多かった。また「広報とぎつ」を見て来たという人やいつも散歩をするコースなのでと言って参加した人もいた。

実行委員（当法人会員）の反省会では「捨てられたごみを拾ってきれいにするということのほかに、この取り組みを多くの方に知っていただき、環境問題に関心を持ってもらうというもう一つの目的もあるので、2～3日前に実施内容のお知らせ掲示板を立て、広く皆さんに周知したらという意見や時津港を練習場にしている長

崎大学の漕艇部には、もっと確実な方法でお知らせをしたら」という改善提案もあった。

### ★ おおむら湾環境シンポジウム（シーハット大村 さくらホールで開催）

～大村湾の環境と人間（ひと）との関わり～

大村市主催で、長崎県・大村湾環境ネットワーク（当法人は会員）と長崎大学環東シナ海環境資源研究センターの共催で行われたシンポジウムでは、①大村湾の成立と環境（長崎大学教授 松岡 数充氏） ②遺跡から見える大村湾と人の関わり（愛媛大学教授 田崎 博之氏） ③大村湾の環境変化と私たち（長崎県環境保健研究

センター 部長 山口 仁士氏）による講演のあと、休憩を挟んで同メンバーと大村市長 松本 崇氏、長崎大学教授 中田 英昭氏によるパネルディスカッションが、大村市史編さん室長 稲富 裕和氏の司会で開催された。当法人から青山ほか2人、総勢約250人が参加した。

この日の一連のシンポジウムをまとめると以下

のようなものだった。

閉鎖性の高い大村湾は、海水浄化の能力が高い干潟や藻場が発達する浅場が少なく、陸から流入する栄養分や有機物が湾内の深みにたまりやすい。そのため、海底では酸素不足や無酸素水が作られている。

1970年代前半までは、海の栄養、海の浄化

能力が一定のバランスの中で循環し、海と魚と人々が生きてきた。

1970年代後半から漁獲量が著しく減少し、栄養負荷を湾外に取り出す能力が落ちて環境悪化のスパイラルになっている。沿岸人口の増加や海岸の埋め立てなど、人々が利便性を求めた結果として今の大村湾がある。

## ～大村湾を想う、磯あそびができる大村湾を取り戻そう～



大村湾の最南端時津町、後方の右奥は岩屋山

小生が小さいころ（昭和20年代）の大村湾には、真珠いかだが浮かび漁船も多かった。それは浄化作用を持った美しい生活のある大村湾の風景だった。夏はペーロン競漕が繰り広げられていた。私たち一般市民も海岸や海水浴で遊び、夜はガスランプを持ってカニを捕って遊んだ。彼岸花の根でタコ釣りもした。岸や船から魚釣りをした。砂浜でアサリやハマグリを採った。

近年の文明生活の結果が今の大村湾にあるのなら、海の自然が持つ自律性のある栄養と浄化のバランスの取れた大村湾をつくり上げ、次の世代に渡さなければならない。大村湾にはまだ古代から生息するカブトガニから大村湾の食の連鎖の頂点にあるスナメリまで、辛うじて生息している。大村湾沿岸住民が「豊かな海・大村湾」に目を向けた生活・活動をしなければ悪化のスパイラルを食い止めるのは難しい。（A.Y記）

## ★ カンボジア支援

### ～時津小学校でカンボジアからのビデオを上映～



時津小学校のJRC活動報告会

2月28日（木）朝、時津小学校の体育館で、JRC（青少年赤十字）委員会の活動報告会が行われ、子どもらが集めた空き缶プルタブで得た車イスの特別養護老人ホーム時津荘への贈呈式とカンボジアから届いたビデオ上映会が開催された。

カンボジアの子どもたちからの手紙とビデオは、昨年8月時津小学校のJRC委員会の子どもたちが、全校児童に呼び掛け集めて送った文房具や衣類、絵

本に対するお礼として送られてきた。

手紙はひと足先に、プレアプット小学校4～6年生の62人から届き、時津小学校の構内に掲示し読んでもらった。今回の手紙で分かったことは、同じ学年でも年齢が不ぞろいで、4年生で15歳（日本では中3）の子もいる。これはいろんな事情で入学が遅かったためである。また手紙には「時津小学校の高層の校舎に驚いた」「一生懸命勉強して日本へ行ってみたい」「人を助けられるような人になりたい」などと書かれていた。

ビデオは、現地で支援活動を行っているプロジェクトのスタッフが製作した10分弱のもので、子どもたちが、家の仕事のことや学校の様子、遊びのことなどをカメラに向かってクメール語（現地の言葉）で話し掛けている。クメール語でしゃべる子どもたちの言葉は、日本語の字幕になり、これを先生が読んであげたことで、子どもたちには十分に伝わったようだ。

その後、この手紙を読みビデオを見た時津小学校の4年生と5年生が手紙を書き、3月25日（月）にプレアプット小学校へ送った。手紙には「文房具を大事に使ってください」「カンボジアへ行ってみたい」「サッカーで対戦したい」「一緒にゴム飛びをしたい」などと書いてあった。

## ★ 地球温暖化防止 啓発活動

### \* 冬の節電コンテスト表彰式

～1世帯当りの電力削減量は111.5Kwh、削減率は14.8%～



表彰式 プレゼンターは赤木未来環境推進課長

ながさき節電コンテスト表彰式が、3月16日（土）午後1時半から3時半まで、長崎県勤労福祉会館4階 第3会議室で開催された。

今回のコンテストには県内の638世帯が参加。表彰式では削減率部門1位～3位までとアイデア賞の3人が表彰された。その他の受賞者は、賞品の発送をもって発表。今回は図書券500円分の参加賞もあった（発送済み）。

削減部門（昨年の使用量からの削減率）の最優秀賞は、79%削減の三浦 利郎様（長与町）、2位は77%削減の中山 幸子様（長崎市）、3位は74%削減の狭間 テルエ様（上五島市）。アイデア賞は最優秀賞 畑中 千華子様（長崎市）、優秀賞 笹野 裕子様（時津町）、特別賞 鶴瀬 守様（壱岐市）。表彰式のプレゼンターは赤木課長（長崎県未来環境推進課）。

主催者は「乾いた雑巾を絞るような取り組みをやっていただいた結果と思う。コンテストに参加いただいた方に感謝する」「夏のコンテストで削減した上でのさらなる節電に敬意を表する。最近、エネルギー問題を自分たちのものとして捉えるようになった。今後はアメリカのメタンハ

イドレートの例があるように、新しいエネルギーへの転換が重要な課題となる。また 関心を持たない人への呼び掛けも大切である」と述べた。

## ★ 食に関する会議及び交流会に出席

### \* 長崎県食育推進広域ブロック会議（西彼保健所管内ブロック）

当法人も本会のメンバーであることから、1月7日（月）に西彼保健所で開催された標題の会議に青山が出席した。

県は地域の特性に合わせた食育を推進しようとしており、今回は九州農政局長崎地域センターが実施した県下8高校270人のアンケート結果が紹介された。

朝ご飯は何を食べたかの問いに、ご飯とおかずが51%。パンとおかずが28%。お菓子または食べない、その他の計が21%。

高校生はまだ体の成長期、受験勉強で生活のリズムが乱れたり、ダイエットでサプリメントに頼りがちな状況が報告された。

### \* 食育アイランド九州長崎交流会

九州農政局長崎地域センター主催の食育アイランド九州長崎交流会（当法人もメンバー）が、2月28日（木）午後1時半から大村市の長工醤油協同組合大村工場で開催され、青山が出席した。

この会では、日本の伝統的な発酵食品であ

るしょうゆの製造過程の説明や工場見学などがあったが、あまり見ることがない発酵の世界は興味深かった。会の後半は、全参加グループによる意見交換会があり、食の大切さについて終了予定の午後4時半過ぎまで活発な意見交換がなされた。

## 協働事業

### ★ 放課後 子ども教室

～平成24年度 “とぎつ いただきますクッキング教室” 終わる～



中原講師の実演を食い入るように見る子どもたち

昨年4月28日（土）、北部コミュニティセンター教室（時津北小学校区）から始まった“いただきますクッキング教室”は、時津小学校教室（時津小学校区）、東部コミュニティセンター教室（時津東小学校区）、福祉センター教室（鳴鼓小学校区）の順で会場を巡回し、2月23日（土）の福祉センター教室を最後に総計44回の教室を終了した。

4教室合同で実施した3つの行事は、福祉センター

での「子どもエコ祭」、海きららでの「海の生物連鎖の学習」、中山菜園での「野菜の収穫体験」があった。



子どもに人気の大学生スタッフが講師を務める

8月第1週の北部コミュニティセンター教室には、九州各県の学校の先生や教育関係者、主事研修者ら20人の視察もあった。

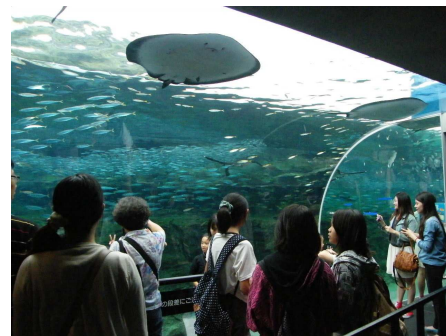
年度最終月は保護者を招いて、ご飯とみそ汁を自分で作る試験と卒業式を開催した。子どもが作った料理で子ども、保護者及びスタッフが会食し、保護者に子どもの家庭の様子を伺ったところ、「料理をしている横から、野菜の皮を捨ててもったいない。“皮も食べらるつとばい”とか“回し切り、イチョウ切りをせんね”というチェックが入る」などの報告もあり、クッキング教室が家庭とのパイプ役を果たしていることも分かった。

この教室は、体にいい料理、環境にやさしい料理が指導方針。「ご飯とみそ汁は自分で作れるようになる」を最低の目標に掲げたが、親を指導する立派な子どもに成長して終了した。



卒業式では、1年間の「思い出」ビデオを上映

教室開催時の登録児童数は81人、終了時には2人減の79人。年間出席率は88%（インフルエンザの流行や地域行事があった割には、良い結果だったと分析している）。



4教室合同の行事 写真は左から子どもエコ祭、海きららでの生物・環境学習、収穫体験

## \* 大学生スタッフの寄稿文

“いただきますクッキング教室”は、当法人会員や一般スタッフ及び長崎大学や長崎外国語大学の学生で運営している。時には中国人やアメリカ人留学生も加わり、出身国の料理や風習などの話もしてくれる。子どもとの年齢差が少ない大学生の協力なくしてはあり得ない。

今年度、学生スタッフの取りまとめ役として、勤務表作りに奔走してくれた長大教育学部 吉永彩子さんに感想を寄せてもらった。

## ～クッキング教室で学び、成長した1年間でした～



とぎつ夏まつりの時の吉永さん

クッキング教室の1年間を振り返ってみると、学びと吸収の連続でした。

第1に、子どもたちと実際に向き合う中で、説明する言葉を選んだり、学年に合わせた対応をしたりするなど、子どもたちとのかかわりについて考えることができました。

第2に、時津町の子ども育成の一環としての活動に参加することで、スタッフのチームワークや運営体制を目の当たりにし、その重要性をあらためて実感することができました。

そして第3は、食べることの重みに気付くことができたということです。親元を離れて一人暮らしを始めると、食事を簡単に済ませ

るようになり、体調が優れないなあということも多くありました。その都度、「健康であることは最大の強み」になるのだなあと思うと同時に、反省するようになりました。私たちは食べるから生きることができ、生きていくために食べる。クッキング教室を通して、「食べること」に対する意識を持つことができたことを、とてもうれしく思います。これからも、楽しく食べて豊かに生きていきたいです。

最後になりましたが、このようなクッキング教室に携わらせてくださった子どもたち・保護者・スタッフの皆様に、心から感謝の気持ちを伝えたいと思います。本当にありがとうございました。

学生副代表

吉永彩子(長崎大学教育学部3年)

### 当面の予定

\* 6月には平成25年度の活動方針を決める総会を開催します。日時決定次第ご連絡します。

### ホームページ

#### ★ ホームページ掲載記事リスト (1月～3月 ホームページ7件 ブログ15件)


#### 情報満載のホームページも開いてみよう!

1. 時津港周辺のごみ拾い
2. クッキング教室卒業(修了式) / 福祉センター教室
3. クッキング教室卒業(修了式) / 東部コミセン教室
4. クッキング教室卒業(修了式) / 時津小学校教室
5. 時津港周辺のごみ拾いのお願い
6. クッキング教室卒業(修了式) / 北部コミセン教室
7. 平成25年 時津町成人式

ホームページアドレス : <http://www.togitu.org>

ブログ : <http://togitu.blog65.fc2.com/>

ブログへは当法人のホームページのトップページからアクセスできます。

《ブログ入口  **Go!**》という表示があります、**Go!** をクリックすると開きます。



## トピックス

各地の桜便りが、連日テレビなどを通じて届いている。長崎の開花は3月16日、満開は3月23日。ほぼ東京と同じで、見ごろは3月22～29日だそう。昨年よりも10日早い開花で、4月の入学式ごろには葉桜になるとの予想である。

時津町の文化の森公園（とぎつカナリーホール所在地）には、各所に桜が植えられており花見公園もある。この日（写真撮影日）は、月曜日ということもあって人出は少なかったが、強い風が吹く桜吹雪の中で、花見を楽しんでいる人もいた。(y. t)



写真は文化の森公園 左から子ども広場、展望台から時津町を望む、花見公園の花見客

## ★ 会員の皆さんへ

新年度（平成25年度）に入りました。年会費は、お近くの理事にお渡しいただくか、下記預金口座への振り込みをお願いいたします。

年会費は年度初めに納入くださるようお願いいたします。

十八銀行時津支店 普通 1 9 1 9 7 3

親和銀行時津支店 普通 2 5 7 5 9 1 9

口座名：

NPO 法人コミュニティ時津

 NPO 法人  
コミュニティ時津

発行元：NPO 法人 コミュニティ時津 事務局  
〒851-2105 長崎県西彼杵郡時津町浦郷 46 番地 22  
TEL/FAX : 095-840-2140 e-mail [info@togitu.org](mailto:info@togitu.org)  
URL <http://www.togitu.org>